

私のこの行いはイエス様の御旨だろうか？

おはようございます。今日の福音の中にも、少しきつい話が出ています。「『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない」そして更に「私は御名によって預言し、御名によって悪霊を追い出し、御名によって奇跡を行ったではありませんか。何故私を知らないふりをするのですか」と続きます。しかしイエス様は「あなたたちのことは全然知らない。出ていけ、ここから去れ」と言われました。

私達は自分の頭の中で自分勝手に考えながら、その考えに沿った生き方をします。自分の判断で生きています。ですから私がここでどんな話をしても、その受け取り方はそれぞれ皆様個人個人によって変わると思います。そして私達は教会で言われている、色々な施しとか奉仕の生活とか良いことを行っています。しかしその奉仕というものも、結局自分の考えの中に受け入れて納得してから、すべきかどうか自分自身で判断し、その様に動きます。そして「隣人を愛しなさい」と言われても、私達は「気が合うか合わないか」「あの人とは気が合わないけれど自分が譲る」というような、色々な自分の判断によって私達は共同生活を送っています。そうですか？ 認めますか？ 今日のお話のポイントは“何を優先的にするか”にあるのではないかと思います。

さあ、もっと具体的に皆様に質問します。もし皆様個人の意志とイエス様の御旨と衝突したら、ぶつかってしまったらどうします？ どうしますか？

イエス様があなたがたに「これをして欲しい」と言われたことと自分のやりたいことが違う場合どうしますか？ イエス様が「あなたにこの犠牲を払って欲しい」と言われたのに「私は全然犠牲を払いたくない」という思いがあった時、その時どうしますか？ 私は東京に行きたいのにイエス様に「名古屋に行って欲しい」と言われたら皆様はどうします？

自分の判断によって私達は信仰も理解します。皆様の中にも、ある意味で神学者以上の知識や考えを持っていらっしゃる方もいるかも知れません。そして皆様の頭の中には、信仰に対して、イエス様に対して「こういうものが信仰だ。こういうものがイエス様だ」というイメージがちゃんとつくられていると思います。しかし、もしそのイメージが本物と違ったらどうしますか？

皆様、今日イエス様はこの様におっしゃいました。「天の国には天の父の御心を行う者だけが入るのである」。イエス様は私達に警告しています。

私のことを少し告白してみたいと思います。私は自信満々でした。子供の時から何をしても容易に一番を取り、一番良く出来ました。体も心も頭もすくすくと育ち、何の問題もありませんでした。こわいものもありませんでした。自信満々でいつも、弱い立場にある人、力の無い人、そして貧しい人達の前に立ち、導く者になるのだというプライドも持っていました。しかし、ある日突然、イエス様はその私を倒されました。私が一番自信のあったところを全て降ろされました。その時私はものすごく辛く、何故自分にこの様なことが襲って来るのか苦しみました。しかし永い時間が流れ、祈りの中でイエス様が私に聞かせて下さった声は「おまえが今まで私の名によって色々なことをし、良いことをすることによって色々な評価を受けて来たけれど、結局私の名だけで、自分の満足の為にやって来たのではないか」という声でした。

その時、私は完璧に悟りました。「あー、そうだった。私はイエス様の名によって色々なことをやって来たかも知れないけれど、その中心には《イエス様》ではなく《私》がいたのだ」と。それを悟るのに10年以上かかりました。

その後、私の人生はすごく変わりました。行きたくない所でも「行って欲しい」と言われたら、行

きます。休みたくても「休まないで働いて欲しい」と言われたら「はい」と従順に答え従います。

私が皆様と分かち合いたいことはこの様なことです。必ずイエス様が皆様に望んでいる御旨というものがあります。その御旨に耳を傾けて下さい。受けようとしてください。それがなかったら私達は色々な良いことをしても、結局その中には一番大切な中身が無いこととなります。私達は信仰者としてキリスト者としてミサに与って、ご聖体を頂いて、色々な分かち合いが出来ても、その中でもし“イエス様のため”という、その様な心が無かったら、私達は結局倒れます。

信仰というものは自己満足ではありません。神を語ることはありません。信仰というものは神様が自分に与えて下さった道を探していくことです。「あなたにとってこの道が一番良い」「あなたが一番良くなる為にはこの道を歩まなければならない」というあの方の御旨を聞き、それがどういうことかを求道者の様な心で探し求めるのが信仰の道だと思います。

さあ、結論は簡単です。「主よ、主よ」と主の名によって預言をしても、誰もが預言する能力をもらえる訳ではないのです。主の名によって悪魔を追い払っても、悪魔は誰もが追い払えるほど簡単なものではありません。その様な私達の努力を神様が貰っても、その心の中に一番大事なものがなかったら、それは何の役にも立ちません。

イエス様は成果、結果について、そんなに大事にしないようです。イエス様が私達に望んでいるのは、私達が生きているプロセスです。過程です。“暖かい、愛に満ちた”過程です。何の意味があって私達がこの過程、道を選び、歩んでいるのかをイエス様は見ているのではないかと思います。

結論として申し上げます。私達は理想的なことをやっても、その中に愛であるイエス様がおられなかったら、私達は正しい道を歩むことは出来ないことを意識して頂きたいのです。

さあ、イエス様は愛、その愛がどういうことか、イエス様がどれくらい私達を愛しておられるか、そしてそれを私達が自覚しているかどうかを考え求めましょう。

ありがとうございました。